

会 議 録

会議の名称	第25期東村山市青少年委員の定例会（第11回）				
開催日時	平成26年2月13日（木）午後7時00分～9時00分				
開催場所	いきいきプラザ4階 教育委員会室				
出席者 及び欠席者	<p>●出席者：</p> <p>（委員） 森田明美副会長・木村一樹委員・小島恵子委員・多田啓子委員 谷橋由樹委員・鈴木史秋委員・山本智治委員・横田昇委員 横山大吾委員</p> <p>（市事務局） 社会教育課：平島課長・片桐係長・川崎</p> <p>●欠席者：</p> <p>（委員） 藤澤功明会長・児玉光昭委員・夏梅智仁委員・宮崎貴幸委員 渡邊いつ子委員</p> <p>（市事務局） なし</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合はその理由	/	傍聴者数	なし
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 青少年委員長 挨拶 2 社会教育課長 挨拶 3 協議事項 4 活動報告 5 今後の活動予定 6 事務連絡 				
問い合わせ先	教育委員会教育部社会教育課社会教育係 担当者名 片桐・川崎 電話番号 042-393-5111（内線3515） ファックス番号 042-397-5431				
会 議 経 過					
<ol style="list-style-type: none"> 1 青少年委員長 挨拶 2 社会教育課長 挨拶 3 協議事項 平成26年度「輝け！東村山っ子育成塾」事業計画（案）等 <ul style="list-style-type: none"> ●平成26年度「輝け！東村山っ子育成塾」事業計画（案）について、検討を進めていきたい。まずは資料の説明を願う。 ●（資料をもとに説明した。） ●前回の定例会以降に、各体験活動ごとに、担当委員の方から提出いただいた案を資料にした。各日にちで、重複している箇所もあるため、内容について、本日検討をいただきたい。 ●各体験活動ごとで、検討した内容の説明を願う。 ●自然体験は、第1回目と第2回目に実施したいと考えている。 ●第1回目は、市内を知る内容として、ウォークラリーの要素を取り入れたものとしたい。コースを秋津方面、運動公園方面の2か所に分けて、昼食時には、全員が集合できるようにし 					

たい。

- 第2回目は、自然体験としてこれまでも実施しており、白州ならではの内容としたいが、ものづくりに関する内容や他の活動を踏まえて、別途考えていきたい。
- 郷土体験は、第1回目、第3回目、第6回目及び第7回目に実施したいと考えている。
- 第1回目は、主に個人でなかなか参加することが難しく、またボランティア精神を育むことができる北川の清掃活動に参加したい。
- 第3回目は、全生園の施設見学をしたい。講話などを通し、いのちの大切さを直接体験できると思う。午後は、全生園から市民センターまで市内2~3ルートでウォークラリーを行いたい。そのルート上の、昔の写真があれば、現在とどのように違うのか探しながら、歩くことができれば良い。
- 全生園から市民センターまで、時間がかかるのではないかな。
- 以前も同様の内容を実施した経過があると思う。ルート等の詳細については、時間面、安全面等を考慮して検討していければ良い。
- 第6回目及び第7回目は一括りで、東村山カルタ（カード）作成を行いたい。
- 今回のカルタ（カード）案は、絵札は1か所の地点の角度や視点が異なる4種の写真を貼り、読み札はヒント形式にしたい。順番にヒントを読み上げ、分かった時点で、絵札をとるものにした。また、絵札の写真には、市制施行50周年にちなんだ内容として市公式キャラクター「ひがっしー」を入れるなどの工夫ができれば良い。
- 一推しの内容は、第1回目の清掃活動である。
- 福祉体験は、時間が合わず、内容検討までには至らなかった。内容の候補は、これまでに実施した内容を踏まえたものにした。申し訳ありません。
- 世代間交流（保育体験）は、第4回目、第7回目及び第8回目に実施したいと考えている。
- 第4回目は、保育体験を行いたい。輝け！東村山っ子育成塾の参加者たちが自分たちよりも年の若い子たちとコミュニケーション体験を取れる良い機会であり、平成26年度も実施したい。園児へのプレゼントは、選択肢の幅を増やしていきたい。
- 第7回目は、1案としてニュースポーツ体験を主に行いたい。ニュースポーツを通して、高齢者の方と交流を図りたい。スポーツ吹き矢やグランドゴルフなど室内でも実施でき、誰にでも行いやすい内容のものにした。
- 第7回目は、2案として昔を知る方からお話を聞き、今後まちがどのようになっていけばよいのか、未来についてみんなで考える時間を設けたい。
- 第8回目は、交流を主軸として、施設訪問を行い、何かを手伝うのではなく、高齢者の方と一緒に劇を行ったり、唄を歌ったりしたい。
- 8月の平日の企画としては、我々スタッフ側の人数の観点からも、保育体験が望ましいと思う。
- 防災体験は、第2回目、第7回目及び第8回目に実施したいと考えている。
- 第2回目は、白州の広い土地を活かし、ブルーシートでテント張りを行いたい。
- 第6回目は、アルミ缶での御飯炊き体験をしたい。震災が起きた際に、やったことがないから出来ないということもなくすためにも、行っておきたい。
- 第7回目は、市のホームページにも掲載されている防災農地めぐりを行いたい。個人の農地で、防災のために、どのような役割や設備があるのか、実際に見ることで体感できると思う。
- バス研修は、行先の案としては、千代田区の昭和館と埼玉県秩父郡の県立自然の博物館がある。昭和館は、今の平成の世の礎である昭和を支えてくれた先人たちの時代を忘れないために、知っておきたい内容である。自然の博物館は、多様な自然を知ることができる機会となる。
- ありがとうございます。今話していただいた内容を精査して、平成26年度事業計画案を検討していきたい。
- 先ほど提案のあった第2回目の白州キャンプの内容については、自然体験とは独立して、検討を進めるようにしていきたい。
(異議なく了承された)
- 第1回目は、参加者も緊張しているため、仲間づくりをしやすいハイクとレクリエーションが好ましいと思う。
- 初回であるため、まずは、他の団体を通さず、青少年委員独自で行う内容のほうが良いと思う。
- 福祉体験も、どこかの回に組み入れる必要がある。
(協議調整の上次のように決定した)

- ・第1回目：自然体験
市内散策でウォークラリーを行う。以前のまちの写真等を使用するかは今後検討を進めていく。拠点は、市役所とする。
 - 第2回目：白州キャンプ
自然体験担当者と防災体験担当者とで、詳細を検討していく。
 - 第3回目：福祉体験
スポーツセンター等の室内で車イスなどの福祉体験を行う。午前または午後の半分の枠を使用して、他の体験もあわせて行うことも視野に入れる。
 - 第4回目：保育体験
これまでと同様に実施するが、実施園については、事務局へ任せる。
 - 第5回目：バス研修
実地踏査を行い、行先を検討する。
 - 第6回目：郷土体験
全生園の園内散策や資料館見学を行い、講話等を聞き、郷土について体験できる内容にする。また、恩多ふれあいセンターを拠点として、市内散策も行える内容にする。
 - 第7回目：世代間交流
ニュースポーツを通して、高齢者を含めた異年齢の交流を図りたい。ニュースポーツの種類については、今後検討を進める。場所は、スポーツセンターが望ましい。
 - 第8回目：まとめとふりかえり
リーダー企画を含め、これまでのふりかえりを行う。場所は、外での活動もしやすい富士見公民館が望ましい。
- ・ 今後は、随時、各回ごとに詳細な検討を進めていただきたい。

4 活動報告

5 今後の活動予定

6 事務連絡

以 上